

① 学習指導案

プログラム	No. 05 「 地域カルタをつくろう 」
単元名 (全 時間)	・六郷小創立150周年記念プロジェクト 「ここがおすすめ ～六郷の自慢の景観～」
学習のねらい	・創立150周年記念事業の一環として、景観について学び、好きな景観や自慢の景観をカルタにすることで、六郷地区の良さを見つめ直し、魅力を再発見し、六郷が大好きな児童に育てたい。
学習内容	1 景観について理解する 2 町探検や地区楽行、修学旅行先、家庭で保護者などと良い景観を探す。 3 六郷地区で見つけた景観を六郷の自慢としてカルタにする。 4 創立150周年記念式典の会場を六郷地区の自慢の景観写真で飾る。
参考資料	No. 05 「地域カルタをつくろう」
準備品	タブレット、プリンター、写真用紙、色画用紙 等
実施場所等	場所：教室、学区域、修学旅行先の東京等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	・出前授業で景観について理解する。	・出前授業を受け、六郷の自慢の景観を探すことに意欲を持たせる。	興味・関心 (観察)
3	・地区学校で、地元の方から地元の良さを学ぶ。 ・景観をタブレットで撮影する。 ・学んだことを基に、良い景観を探したり、撮影してきた写真から一番良い景観の写真を選んだりする。	・地区内の良い景観について考える機会となるように見学先を選定し、意欲を持たせる。 ・どんな観点で良い景観を選ぶと良いのか適宜確認しながら写真を撮ったり、選んだりできるようにアドバイスする。 ・家族と一緒に好きな景観をタブレットで撮影し、家族それぞれの好きな六郷の景観について家族と話してくることを宿題として出す。	課題追求 (観察・写真)
4	・宿題で家族と撮った写真を発表し、それぞれの好きな景観に対する思いを知る。 ・選んだ写真にコメントを付	・それぞれの六郷地区に対する思いに共感したり、大切にしたりできるようにさせる。 ・同じ景観でもそれぞれの思いの	表現力 (発表・写真)



	けカルタづくりをする。	違いや時期の違い、時間帯の違いなどに気付かせる。	
1	・全校生で縦割り班対抗カルタ大会をする。	・景観を楽しみながらカルタ大会に全員が楽しく参加できるように留意する。	活動への意欲（観察）
2	・自慢の六郷地区の景観を選び、創立150周年記念式典の会場に飾る。	・同じ景観でもそれぞれの思いを大切にす。	活動への意欲・表現（観察・写真）







<留意点>


- ・家族と一緒に六郷地区の自慢の景観を選んだり、写真を撮ったりできるように宿題として出すことで、これまで地区の方々六郷地区を大切に守ってきたことに気付けるようにさせる。
- ・それぞれの思いを尊重しあえる雰囲気大切にす。
- ・六郷地区の良い景観を今後も大切にしたいと思えるような活動にする。
- ・150周年記念事業が学校の統廃合後、六郷地区の共通の思い出として、大人になっても語り合えるような活動になるようにす。

② 事業実施報告書詳細

学校名 米沢市立六郷小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	六郷小学校体育館・学習室	◇出前授業で景観について理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ・景観という言葉は初めて知ったが、これまで見た思い出の景観を振り返ったり、パネルや缶バッジ等の景観写真を見たりして美しい景観について考えることができた。 ・景観について学習後、実際に気に入った景観を撮影することで景観のよさについて意識して撮ることができた
4	教室 各地区	◇「地区楽行(地区探検)」に行く。 ・地区内の6つの地区を6年間で全部回れるように学級ごとに地区を分け。それぞれ別日程で行う。 ・見学先について事前に学習する。 ・地元の方から地区の良さを学んだり、地区の方を講師に様々な体験をしたり、地区の企業を見学したりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地区でそれぞれの学年が地区について学習し、改めて地区の良さを実感した。 ・6年生は特にすべての「地区楽行」を経験し、六郷地区のすばらしさや支えてくださっている地区の方々の思いに改めて気づくことができた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じて、スライドや新聞にまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・見学や体験という学びに加え、景観を探するという視点も入ったことで学びが深まった。
4	教室 体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタ作りをする。 ・地区楽行で学んだことを基にどの場所をカルタにするか決める。 ・絵札を作る。 ・文を考えて、読み札を作る。 ・全校生で縦割り班対抗カルタ大会をする 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区楽行を思い出しながら、地区の良さを絵札と読み札に表した。
2	家 地区内 教室 体育館	<p>◇六郷地区のおすすめの景観を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題として、タブレットを持ち帰り、保護者と一緒にどの景観を撮るかを考えたり、家族それぞれのおすすめの景観を話し合ったりして、おすすめ景観を撮影する。 ・地区楽行や家で撮影してきた写真から一番自慢したい景観の写真を選ぶ。 ・写真とおすすめポイントを発表し、それぞれの好きな景観に対する思いを知る 	  	<p>光り輝く長橋地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題で撮影してきたことで、家族の会話が弾んだ。保護者にとっても六郷の150周年の歴史を考える機会となった。 ・家で撮影したことで、シャボン玉を飛ばした写真にしたり、朝や夕方などおすすめの時間帯に撮影したり、それぞれの工夫が見られた。 ・それぞれのおすすめポイントを聞きながら写真

	<ul style="list-style-type: none"> ・自慢の六郷地区の景観を選び、カルタと共に創立150周年記念式典に飾る。 		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">毎日見える楽しい学校</p> <p>を見ることで一層美しい景観に対する理解が深まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・150周年の会場に飾ったことで保護者や地区の方と一緒に六郷地区の景観のよさを改めて感じる機会とできた
--	--	--	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>本校の伝統行事の一つである「地区楽行（地区探検）」とタイアップさせて、子どもたちが地区の良さをより実感できるようにした。タブレットでの撮影を宿題として、家族と共におすすめの景観について考えることで、家族の思いに気づいたり、それぞれのおすすめの違いに気づいたりできるようにした。また、創立150周年記念事業の一環として位置づけることで、地区への愛情を改めて感じたり、子供たちが地区の良さを誇りに思い、次の世代へと語り継ぐ第一歩としたりできるように計画した。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>低学年には、景観という言葉は難しかったため、担任からそれぞれの学年に合わせて分かるように説明した。本校が田んぼに囲まれた土地にあるため、どの児童も同じような田んぼの写真を撮ってしまいがちで、より良い景観、様々な景観に意識を向けさせることが課題となった。学年によっては、他の学習で忙しく、なかなか取り組みの時間を取れずにタブレットを持ち帰る時期が遅くなってしまい、秋の風景しかない学年があった。また、教育課程を組んでからの実施決定となったので、時数を確保するために年間計画を調整することが難しい学年もあった。年間計画作成の段階で実施を決め、時数に入れられると良かった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>カルタづくりでは、地区の良さを実感しながら、友達と協力し、楽しそうに作る様子が印象的であった。カルタにしたことで、「地区楽行」での学びが深まった。自慢の景観については、地区楽行での撮影や学校から見える景観の撮影だけでなく、家庭で宿題としても撮影させたことで、シャボン玉で演出をしたり、時間帯を工夫したりと、それぞれのこだわりが発揮された作品を披露していた。</p>

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

これまでは、「景観」という表現をそれほど意識していなかったが、児童も教員も景観という言葉を用いることが自然になった。それぞれが選んだ景観写真に込められた思いを知り、児童理解が深まった。

(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]

実質、夏と秋の実施であったため、春や雪景色など景観としては、季節によってもっと良い景観が見られたかもしれない。通年での実施ができれば、六郷の春夏秋冬として、より良い景観がそろったのではないか。当初は、景観を写真に撮り、それを使って景観カルタにしようと考えたが、地区楽行で教えていただいたことを生かしてカルタにするには、写真ではなく絵で表すことの方が子どもたちの思考に沿っていると考え、絵札は絵を描くことにした。ただ、カルタは、地区ごとに学年に振り分けたため、50音のカルタとならなかった。閉校に向けて、足りない文字を付け足して、完成させたい。